

【令和元年度 日本人等民間奨学金リスト】

※ このリストは、令和元年度に学内で募集実績のあった奨学金一覧です。今年度も必ず募集があるとは限りません。また、募集条件も変更になる可能性もありますので、必ず募集要項等で詳細を確認してください。  
 ※ 奨学財団から募集依頼がある度に、掲示板および学生支援課ウェブサイトでお知らせしています。

案内のあった時期	申請方法	奨学会等名	給付/貸与	金額(円)	受給期間	出願資格等										全体での採用者数	大学推薦枠	学内申請者数	大学推薦者数	大学採用者数	
						課程				年齢	専門分野	併用条件	学費優遇	経済困難	面接						その他の主な要件
						学部	修士	博士	研究生												
4月	大学推薦	(公財)味の素奨学会	貸与	学部:自宅30,000円/月額 月額(無利子) 院:自宅40,000円/月額 月額(無利子)	最短修業年限まで	○ 3,4年生	○	○			理工系	併用可	○	△ 資料提出	<ul style="list-style-type: none"> <li>学部3,4年生および大学院生で化学をはじめとする理系全般の学科を専攻する学生</li> <li>成績優秀にして、身体強健・志気堅固な者</li> <li>経済的に困窮し、大学院(修士・博士課程)へ進学を目指す女性毎年約1名を対象に貸与された金額を免除(最大2年間を限度)する制度(鈴木ナカ記念奨学金)あり</li> </ul>	15名	2~3名	1名	1名	1名	
4月	大学推薦	(一財)関学奨学会	貸与	30,000円/月額(無利子)	最短修業年限まで	○ 2年生						併用可	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>学部2年生に在学し、人物、学業とも優秀かつ健康でありながら、学費の支弁が困難と認められる者</li> <li>財団の各種行事等に積極的に参加し、奨学生間の意識を高め相互の親睦に努めること</li> </ul>	20名	1名	1名	0名	0名	
4月	大学推薦	(公財)春秋育英会	給付/貸与	30,000円/月額 (内訳:給付:20,000円/貸与:10,000円(無利子))	最短修業年限まで	○					修了時26歳を 超えないこと	併用可	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>原則として保護者の年収が600万円以下</li> <li>奨学金は交付金額30,000円のうち20,000円が給付、10,000円が貸与(無利子)される</li> <li>日本在住の保証人が得られる者</li> <li>採用後、首都圏在住の奨学生は、毎年4月に財団にて面接を行う</li> </ul>	記載無	2名	9名	2名	2名	
4月	大学推薦	(公財)高村育英会	給付	50,000円/月額	最短修業年限まで	○ 1年生						給付奨学金・授業料免除との併用不可	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成31年4月期に入学し、学業、人物共に優秀でかつ健康であって、学費の支弁が困難と認められる者</li> <li>入試成績が学部上位2/3以内の者または推薦入学等でこれに準ずる者</li> <li>家計維持者の平成30年度分の所得税所得が300万円以下(給与収入600万円程度以下)</li> <li>次のいずれかに該当すること。母子・父子世帯・障害者のいる世帯・長期療養者(6か月以上)のいる世帯・火災・風水害、盗難等の著しい被害を受けた世帯・生活保護世帯及びこれに準ずると認められる世帯</li> </ul>	15名	1名	0名	0名	0名	
4月	大学推薦	(公財)中村福善会 給付奨学金	給付	30,000円/月額	最短修業年限まで	○ ○ ○					40歳まで (出願時)	併用可	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>学部1年生・入学前直近の成績が平均水準以上</li> <li>学部2年生以上・前年度までの成績が平均水準以上</li> <li>大学院:大学ならびに大学院の成績が特に優れ、将来高度な社会人・職業人として活動する能力があると認められる者</li> <li>家計基準(共通):日本学生支援機構第一種の家計基準を満たす者</li> <li>10月入学・学業に支障のあるような定期またはアルバイトに従事している者、勤務先からの派遣学生は応募不可</li> </ul>	記載無	1名	26名	1名	1名	
4月	大学推薦	(公財)中村福善会 給付奨学金	給付/貸与	80,000円/月額 (内訳:給付:30,000円/貸与:50,000円(無利子))	最短修業年限まで	○ ○ ○					40歳まで (出願時)	給付奨学金との併用可 貸与奨学金との併用不可	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>学部1年生・入学前直近の成績が平均水準以上(平均水準以下でも認められる場合がある)</li> <li>学部2年生以上・前年度までの成績が平均水準以上(平均水準以下でも認められる場合がある)</li> <li>大学院:大学ならびに大学院の成績が特に優れ、将来高度な社会人・職業人として活動する能力があると認められる者</li> <li>家計基準(共通):日本学生支援機構第二種の家計基準を満たす者</li> </ul>	記載無	1名	7名	1名	1名	
4月	大学推薦	(公財)アイザワ記念育英財団	給付	学部:30,000円/月額	最短修業年限まで	○ 2~4年生						日本学生支援機構のみ併用可	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>学部2~4年生で人物、学業ともに優れ、経済的理由により修学が困難であると認められる者</li> <li>1~6月提出、研修会・研修会参加が必ずであること</li> <li>留学する予定のない者(海外留学者(交換留学)は申請不可)</li> <li>将来、産業・文化両面において社会に貢献しようとする者</li> </ul>	記載無	2名(うち1名追加推薦枠)	6名	2名	2名	
4月	大学推薦	(公財)川村育英会	給付	学部:30,000円/月額 修士:60,000円/月額	2019年8月から 最短修業年限まで	○ 2年生	○ 1年生					化学系および機械、電気電子工学系	併用可	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>2019年度学部2年生または博士課程前期1年生に在学する者</li> <li>学業優秀・品行方正・身体強健でありながら経済的理由により修学が困難と認められる者</li> <li>化学・応用化学、化学工学などの化学系、および機械、電気電子工学系を専攻する者とする募集の年間収入(世帯の年間収入)は500万円以下</li> <li>成績証明書記載の学業成績に占めるA・優以上の割合が50%以上</li> <li>奨学生証授与式及び交流会に原則出席すること</li> </ul>	学部7名 院14名	学部1名 院1名	学部3名 院1名	学部0名 院0名	学部0名 院1名
4月	大学推薦	福島県奨学金(福島県)	貸与	35,000円/月額(無利子)	最短修業年限まで	○						貸与奨学金との併用不可	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>福島県内の高校を卒業した者、高等学校卒業程度認定試験もしくは大学入学資格検定に合格した者(合格当時県内に住所を有していた場合に限る)で、入学により住所を移転する県内に引続き6か月以上住所を有していること</li> <li>県外の高校を卒業し、卒業後に福島県奨学金を受けていた者</li> <li>1年生・卒業時の最終2年間の評定が平均3.0以上</li> <li>2年生以上・大学における成績が本人の所属する学部の平均水準以上</li> <li>家計基準:本人の生計を主として維持する者について、所定の基準以下</li> </ul>	123名程度		0名	0名	0名	
4月	直接応募	(公財)東電記念財団 【翌年度支給】	給付	50,000円/月額(年4回の分割払)	最短修業年限まで (最長3年)						28歳未満(2020年4月1日時点)	日本学生支援機構等の公的奨学金との併用可	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>2020年度に博士後期課程への進学を希望している者、または現在、博士後期課程1年もしくは2年に在学中で2020年度に退学予定の者</li> <li>広く将来の電気・エネルギー分野の発展に資する意欲を持つ者</li> <li>同一年度中に当該財団の奨学の申請はできない</li> <li>現在、当該財団の助成を受けていない者</li> <li>採用後、受給開始以降留学する場合、原則としてその期間は給付を停止する(帰国後、申請により修業年限までの給付再開は可能)</li> </ul>	5名程度					
5月	大学推薦	(公財)長谷川財団	給付	30,000円/月額	最短修業年限まで	○ 2~4年生						併用可	○	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>学業意欲旺盛・品行方正・健康でありながら経済的理由により、修学困難な者</li> <li>財団主催行事に可能な限り出席すること</li> <li>毎年度末までに学業成績表及び終了報告書を提出すること</li> </ul>	20名程度	1名	学部2名 院5名	院1名	0名	
5月	直接応募	在日本朝鮮人教育会	給付	学部1年生:160,000円/年額 学部2年生以上:200,000円/年額	1年間 (毎年再審査あり)	○					30歳未満	給付奨学金との併用不可	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>在日朝鮮人学生(国籍不問、朝鮮半島にルーツを持つ学生)</li> <li>本国からの留学生は不可</li> <li>本教育会の指定行事及び催行事等に積極的に参加する意欲のある者</li> </ul>	記載無					
5月	直接応募	(公財)原科学技術振興財団 原工学実奨学金	給付	40,000円/月額(年間480,000円)(年額を2回に分け支給)	2年間	○ 3年生	○ 1年生				30歳以下 (募集年度4月1日時点)	併用可	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本国籍を有する学部3年生または博士課程前期1年生であること</li> <li>工学系学部または工学系研究科に在学すること</li> <li>経済的な理由により学費の支弁が困難であること</li> <li>就学状況及び生活状況について通称報告できること</li> </ul>	10名					
5月	直接応募	(公財)交通通児育英会 大学院 在学募集(10月まで) 予約募集(1次8月、2次1月まで)	貸与	50,000円・80,000円・100,000円/月額から 選択(無利子)	最短修業年限まで	○ 学部生	○ 専攻生				応募時25歳まで (当会高校奨学生だった者は29歳まで)	併用可	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者等が道路における交通事故で死亡したり、著しい後遺障害のため働けず、経済的に修学が困難な学生</li> <li>学力基準:保護者の収入基準なし</li> <li>一人の奨学生への貸与期間:貸与総額の上限は3年間・812万円、大学院奨学生としての総貸与期間は修士2年間、博士1年間</li> </ul>	20名					
5月	直接応募	(公財)交通通児育英会 大学 在学募集(10月まで)	貸与	40,000円・50,000円・60,000円/月額から 選択(無利子)	最短修業年限まで	○					応募時25歳まで (当会高校奨学生だった者は29歳まで)	併用可	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者等が道路における交通事故で死亡したり、著しい後遺障害のため働けず、経済的に修学が困難な学生</li> <li>学力基準なし</li> <li>収入基準あり(3人世帯の目安:給与所得者940万円以下、給与所得以外520万円以下、遺族年金や障害年金は考慮しない)</li> <li>一人の奨学生への貸与期間:貸与総額の上限は3年間・812万円、大学奨学生としての総貸与期間は4年間</li> </ul>	300名					
5月	直接応募	(一財)あしなが育英会 (病災・災害・自死遺児等)	給付/貸与	一般:70,000円/月額 (内訳:給付:30,000円/貸与:40,000円(無利子)) 特別:80,000円/月額 (内訳:給付:30,000円/貸与:50,000円(無利子)) (3ヶ月ごとに3ヶ月分支給)	最短修業年限まで	○					25歳未満	併用可	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者が病災、災害(道路上の交通事故を除く)・自死などで死亡または保護者が著しい障害を負っており、経済的に困難な家庭であること</li> <li>1日2日の重複試験あり</li> <li>財団主催行事に必ず参加できること</li> </ul>	370名程度					
5月	直接応募	(一財)寿財団	給付	40,000円/月額 ※年額480,000円を一括給付	2年間	○ 3年生					学部3年生25歳以下 (募集年度4月1日時点)	併用可	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本国籍を有する学部3年生であること</li> <li>経済的な理由により学費の支弁が困難な者</li> <li>就学状況及び生活状況について通称報告できること</li> <li>学業成績の目安がGPA3.0以上</li> <li>収入の目安が給付収入世帯は人世帯600万円以下、4人世帯700万円以下、5人世帯800万円以下、給与収入以外の世帯は3人世帯250万円以下、4人世帯300万円以下、5人世帯370万円以下</li> </ul>	10名					
5月	直接応募	(公財)日本教育文化財団	給付	20,000円/月額(年額240,000円) (年2回、8月と1月に支給)	最短修業年限まで	○ 1年生					25歳以下 (募集年度4月1日現在)	併用可	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本国籍を有する学部前1年生であること</li> <li>経済的な理由により学費の支弁が困難であること</li> <li>学業優秀かつ品行方正であること</li> <li>就学状況及び生活状況について適正に報告できること</li> </ul>	10名程度					
5月	直接応募	清流の園ぎふ大学生等奨学金 《就職者》	貸与	30,000円/月額(無利子)	最短修業年限まで	○						併用可	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>岐阜県内の高等学校等を卒業した学部生で、県外に住所を有し、県外の大学に在学していること</li> <li>卒業後に岐阜県内で就業する意思があり、かつ学業成績が優秀でありながら、経済的理由により修学が困難であると認められる者</li> <li>成績基準:家計基準あり</li> <li>卒業した日の属する月の翌月から起算して6か月以内に岐阜県内に居住かつ就業し、5年間継続することにより、奨学金金額の返還が免除される制度あり</li> </ul>	120名					
5月	直接応募	(公財)似島国際奨学財団上期 【翌年度支給】	給付	自宅生:50,000円/月額 自宅外生:80,000円/月額	1年間	○						給付奨学金との併用不可	○	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>学業・人物ともに優秀で健康であり、国際理解と国際間の友好親善に寄与できる者</li> <li>日本国籍を有する者</li> <li>奨学金を有する者、財団主催の交流会への出席、毎月の奨学生レポートの提出が必要(交流会へ欠席、奨学生レポート提出の遅れ、提出がない場合は、奨学金が停止、もしくは打ち切りとなる)</li> <li>休学、海外留学した場合は、奨学金が停止、もしくは打ち切りとなる</li> <li>昨年の世帯総収入が800万円以下</li> </ul>	約100名(上期・下期合わせて)					
5月	直接応募	山口県奨学金返還補助制度	返還補助	補助対象期間の月数÷72×奨学金の返還額(対象者に決定された年の4月から2年間に貸与を受けた金額)	就業後12年間のうち最大6年間	○ 1年生						工学、理学、農学、薬学	地方公共団体が行う奨学金の返還支援との併用不可	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>応募時点で奨学金の貸与を受けている(申請している)者</li> <li>応募時点で、修士(博士課程前期)1年に在籍している者</li> <li>修士(博士前期)課程を修了した年の翌4月末日までに、山口県内の製造業に就業することを希望する者</li> </ul>	25名程度(うち業判別5名程度)				
5月	直接応募	山形県若者定着奨学金返還支援事業 【市町村連携枠】	返還補助	28,000円×平成31年4月以降の貸与月数又は奨学金の返還残高のいずれか低い額		○	○							○	<ul style="list-style-type: none"> <li>山形県内に居住し県内の高等学校、特別支援学校高等部、専修学校高等課程を卒業し、学部、大学院修士(博士前期)課程に平成31年度に在学する者</li> <li>卒業(修了)後6か月以内に山形県内に居住し、3年間継続する見込みの者</li> <li>支援対象の産業分野(商工、農林水産、建設、医療・福祉等)に就業希望の者</li> <li>日本学生支援機構第一種奨学金の貸与を受けている者又は希望する者</li> </ul>	7名					
5月	直接応募	山形県若者定着奨学金返還支援事業 【産業団体連携枠(2次募集)】	返還補助	28,000円×平成30年4月以降の貸与月数(上限額)		○	○							○	<ul style="list-style-type: none"> <li>山形県内の高校、特別支援学校高等部又は専修学校高等課程の卒業生</li> <li>学部2年生以上、大学院修士(博士前期)課程2年生に在学し、平成32年3月以降卒業(修了)予定の者(卒業後の就業先が決定していない者に限る)</li> <li>卒業(修了)後6か月以内に山形県内に居住し、3年間以上継続する見込みの者</li> <li>卒業(修了)後6か月以内に助成対象分野(詳細は募集要項を参照)ごとの指定就業先に就業し、3年間以上継続する見込みがある者</li> <li>日本学生支援機構第一種奨学金または第二種奨学金、山形県内市町村が実施する奨学金の貸与を受けている者</li> </ul>	募集要項参照					
5月	直接応募	山形県ものづくり人材就業支援事業費補助金	返還補助	卒業前2年間の貸与額(上限)	令和2年4月初日を 起点とした10年間で 8年間以上	○	○	○				理学部、工学部もしくはこれらに準ずる学部・研究科(学専)		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本学生支援機構第一種奨学金、第二種奨学金の貸与を受けている者</li> <li>令和元年度に卒業(修了)予定の者</li> <li>令和2年9月末までに対象業種企業(詳細は募集要項参照)における、企画・開発、製造部門への就職を希望している者</li> <li>令和2年4月初日を起点とした10年間で、8年間に山形県内に勤務し、かつ県内に定住する見込みであること</li> </ul>	概ね30名					
6月	大学推薦	新潟県奨学金(貸与型奨学金) 《新潟県》	貸与	41,000円/月額(無利子) ※入学時一時金あり(保護者の所得要件による)	最短修業年限まで	○						日本学生支援機構第一種奨学金との併用不可	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>新潟県内に居住する者の子弟で学部生</li> <li>1年生・高校等における全履修科目の履修平均値が3.5以上</li> <li>2年生以上・申込年度までの大学の成績が「良」以上が全履修科目数の50%超</li> <li>保護者の収入基準あり</li> </ul>	40名程度		0名	0名	0名	
6月	直接応募	CWAJ視覚障害学生奨学金 【翌年度支給】	給付	1,500,000円/年額	1年間	○ 2~4年生						年額100万円を超える給付奨学金との併用不可	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>身体障害等諸表による級別1~6級の視覚障害者</li> <li>日本国籍あるいは日本国特別永住権をもち、出席時に日本に在住する者</li> <li>学部生は、2020年3月までに国内の4年制大学の2学年を終了している者</li> <li>大学院生は、2020年3月までに国内の4年制大学を卒業し、奨学金支給期間中(2020年4月~2021年3月)に国内の大学院に学位取得のため在学すること</li> <li>これまでCWAJから奨学金を受けたことのある者およびCWAJのメンバーは応募不可</li> </ul>	2名					
7月	大学推薦	(公財)東原奨学財団	給付	20,000円/月額	最短修業年限まで	○ 1年生						併用可	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>学部1年生で、学業・人物ともに優秀で、かつ健康であり、学費の援助を受けることが必要であると認められる者</li> </ul>	5名以内	2~3名	0名	0名	0名	
7月	大学推薦	(一財)種とま財団 【翌年度支給】	給付	80,000円/月額	最短修業年限まで	○ 4年生	○ 進学者					民間奨学金との併用不可(日本学生支援機構奨学金は併用可)	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本国籍を有し、理工系大学の学部3年生で4年生へ進級が見込まれる者または4年生で学内の修士(博士前期)課程へ進学が決定している者</li> <li>学業優秀・健康・品行方正であり、経済的な理由により学費の支弁が困難であること</li> <li>対象分野は、工学系、理学系、情報系(医・歯・看護、看護・保健・福祉系、薬学系、農学系、文系は対象外)とする</li> <li>財団が開催する報告会等に必ず出席できる者</li> </ul>	30名	1名	6名	1名	1名	
7月	大学推薦	(公財)双葉電子記念財団 【翌年度支給】	給付	博士:100,000円/月額	1年間 (毎年の継続審査により最大3年間)							自然科学系分野	給付型奨学金との併用不可	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>2020年度に博士課程後期に在籍(進学予定を含む)し、自然科学系分野を専攻する学生</li> <li>奨学金贈呈式、成果発表会等財団の行事には原則出席し、奨学生間及び研究助成対象者との交流を促進し、親睦に努めること</li> <li>次年度7月に開催予定の成果報告会での発表が義務付けられる</li> <li>毎年の継続審査により最長卒業年度まで(原則3年間)支給可能</li> </ul>	数名程度		2名	2名	2名
7月	大学推薦	(一社)大学女性協会	給付	一般奨学生:200,000円/1回限り 社会福祉奨学生:学部生100,000円、院生200,000円/1回限り	1回限り	○ 福祉奨学生(2年生以上)	○ 2年生							○	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般奨学生:大学院に在籍1年以上の女子学生</li> <li>社会福祉奨学生:学部・大学院に在籍1年以上の女子学生で身体に障害のある者(身体障害者手帳の交付を受けていること)</li> <li>過去に当該財団の奨学金を授与された者は再度応募することはできない</li> <li>在籍年数に依り申請はできない</li> <li>翌年2月末日に現在の大学に在籍すること</li> </ul>	一般6名 福祉3名以内	一般1名 福祉1名	一般2名 福祉2名	一般1名 福祉0名	0名	
7月	直接応募	(一財)富山文化財団	給付	300,000円/年額	1年間	○	○	○				併用可	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>学術優秀・品行方正であり、経済的な支援必要とする者</li> <li>「日本ものづくり」子供の謎や文化遺産「里道なび文化」のいずれかに関する事項について、目標を持って学業に取り組んでいること</li> <li>奨学生としての義務(必要書類の提出、異動等重要な事象が発生した際の報告、財団主催行事に出席し、奨学生間の意識高揚、親睦に努めること等)を履行できる者</li> </ul>	35名程度					
7月	直接応募	(一財)高久国際奨学財団 【翌年度支給】	給付	70,000円/月額	1年間		○ 進学者					併用不可	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際理解と親善に関心をもち、貢献を意図する者</li> <li>月例金(月に1回、土曜日)、財団の定めた行事に必ず出席できる者</li> <li>月末に400字のレポートを必ず提出できる者</li> <li>奨学金支給終了後も財団と連絡を継続する意思のある者</li> <li>日本学生支援機構等の無利子奨学金または有利子奨学金の貸与を受けている(いない)者(日本学生支援機構奨学金以外については、貸与基準が日本学生支援機構奨学金に準じる要件のもの)</li> <li>学部、大学院に在籍する令和2年度卒業(修了)予定者および令和元年度以前卒業(修了)者(予定を含む)</li> <li>令和2年度卒業予定者および令和元年度卒業予定者については大学等卒業後、既卒者については令和2年4月以降に県内事業所に正規職員として就業を希望する者(公務員を除く)</li> <li>徳島県内に定住することを希望し、かつ既卒者については県外から移住する年齢30歳(令和2年4月1日時点)までの者</li> <li>やむを得ない事情による場合を除き、学部、大学院を修業年限以内で卒業・修了した(する見込み)の者</li> <li>奨学金返還を滞納していない者</li> <li>一定の県内就業を返還免除条件とする公的貸付制度を利用していない者</li> <li>日本学生支援機構第一種奨学金、またはこれに準ずる奨学金の貸与を受け、返還予定の者</li> <li>申請時に最終学年またはその1年前の学年(学部3年生以上、大学院修士(博士前期)課程1年生以上、博士後期課程最終学年またはその1年前の学年)に在学し、かつ就職先が決定していない者</li> <li>規則で定められた地域(募集要項参照)への定住を希望する者</li> <li>常勤雇用または個人事業主等として就業する予定の者(公務員は除く)</li> </ul>	約3名					
7月	直接応募	徳島県奨学金返還支援制度	返還補助	(1)無利子奨学金借受総額の1/2(既卒者は、または返還残高のいずれか低い額)(上限:100万円) (2)有利子奨学金または(1)以外に対象と認められる奨学金借受総額の1/3(既卒者は、または返還残高のいずれか低い額)(上限:70万円) ※(1)(2)両方の奨学金貸与を受けた場合は、(1)により算定した額(70万円)を満たさない場合は、(2)を合算して上限70万円	就業開始年度から 起算して4年目から8 年目までの間	○								○	<ul style="list-style-type: none"> <li>山形県内の高校、特別支援学校高等部又は専修学校高等課程を卒業又は卒業見込みの者(卒業(修了)後6か月以内に山形県内に居住し、指定就業先(詳細は募集要項参照)に就業し、3年以上継続する見込みの者)</li> <li>山形県内に居住する者(市町村連携枠は、市町村によって対象の奨学金は異なる。産業団体連携枠は、企業等によって対象の奨学金は異なる)</li> </ul>	150名程度					
7月	直接応募	三重県地域と若者の未来を拓く 学生奨学金返還支援事業	返還補助	在学中に借受予定の奨学金総額の1/4を支援(上限100万円) ※卒業(修了)後、就業しかつ指定地域に4年間居住した場合に助成金額の1/3を交付し、8年間居住した場合に残額を交付		○					35歳未満 (平成31年3月31日時点)			○	<ul style="list-style-type: none"> <li>一定の県内就業を返還免除条件とする公的貸付制度を利用していない者</li> <li>日本学生支援機構第一種奨学金、またはこれに準ずる奨学金の貸与を受け、返還予定の者</li> <li>申請時に最終学年またはその1年前の学年(学部3年生以上、大学院修士(博士前期)課程1年生以上、博士後期課程最終学年またはその1年前の学年)に在学し、かつ就職先が決定していない者</li> <li>規則で定められた地域(募集要項参照)への定住を希望する者</li> <li>常勤雇用または個人事業主等として就業する予定の者(公務員は除く)</li> </ul>	20名					
7月	直接応募	山形県若者定着奨学金返還支援事業 【市町村連携枠】	返還補助	28,000円×支援対象の月数又は奨学金の返還残高のいずれか低い額		○								○	<ul style="list-style-type: none"> <li>山形県内の高校、特別支援学校高等部又は専修学校高等課程を卒業又は卒業見込みの者(卒業(修了)後6か月以内に山形県内に居住し、指定就業先(詳細は募集要項参照)に就業し、3年以上</li></ul>						





【令和元年度 日本人等民間奨学金リスト】

※ このリストは、令和元年度に学内で募集実績のあった奨学金一覧です。今年度も必ず募集があるとは限りません。また、募集条件も変更になる可能性もありますので、必ず募集要項等で詳細を確認してください。  
 ※ 奨学財団から募集依頼がある度に、掲示板および学生支援課ウェブサイトでお知らせしています。

案内のあった時期	申請方法	奨学会等名	給付/貸与	金額(円)	受給期間	出願資格等										全体での採用者数	大学推薦枠	学内申請者数	大学推薦者数	大学採用者数						
						課程				年齢	専門分野	併用条件	学力優劣	経済困難	面接						その他の主な要件					
						学部	修士	博士	研究生																	
3月	大学推薦	(公財)中部奨学会	給付/貸与	学部生:給付・貸与35,000円/月額 修士:給付・貸与60,000円/月額 博士:給付60,000円/月額 ※貸与は無利子	最短修業年限まで	○	○	○												学部:給付4名、貸与8名 修士:給付2名、貸与4名 博士:給付6名	学部、修士、博士それぞれ募集人員数を超えない範囲	学部12名 修士15名 博士3名	学部3名 修士1名 博士1名	0名		
3月	大学推薦	(公財)日本証券奨学財団	給付	学部:自宅35,000円/月額 自宅外45,000円/月額 修士:自宅40,000円/月額 自宅外50,000円/月額 博士:自宅45,000円/月額 自宅外55,000円/月額	最短修業年限まで	○	○	○												学部2年生または修士および博士課程の1年生 ・収入制限あり ・一定の職業に従事していない者 ・推薦者2名中1名は社会科学系の法・経済専攻者 ・財団の各種行事等に必ず出席できる者	60名	2名	学部3名 院11名	学部1名 院1名	学部1名 院1名	
3月	大学推薦	(公財)山口県とつくり財団 《山口県》	貸与	43,000円/月額(無利子)	最短修業年限まで	○														・保護者が山口県内に住所を有している者 ・向学心に富み有能な素質を有し、経済的な理由により修学が困難と認められる者 ・卒業後、山口県内の企業等へ就職し、山口県内に定住(継続して5年以上山口県内に住所を有すること)する意思のある者に対して「定住促進奨学金 月額貸与20,000円」を加算することも可	記載無	学内選考無	0名	0名	0名	
3月	大学推薦	(公財)みずほ育英会	貸与	学部:50,000円/月額(無利子) 大学院:60,000円/月額(無利子) ※奨学金はみずほ育英会事務局にて直接交付	最短修業年限まで	○	○	○												・保護者年収目安900万円以下 ・毎月上旬にみずほ育英会事務局で直接奨学金を交付(首都圏在学者のみ) ・毎年学業成績および生活状況報告書提出 ・財団主催行事への参加あり ・奨学金学生のうち、主たる家計支持者の事情により、著しく学費の支弁が困難と認められた者に対しては、選考委員会の審議を経て理事長が決定したうえで給付奨学金(学部生30,000円/月額、大学院生40,000円/月額)が支給される可能性がある	記載無	2~3名	学部4名 院0名	学部1名 院0名	学部1名 院0名	
3月	大学推薦	(公財)三菱UFJ信託奨学財団	給付	35,000円/月額	最短修業年限まで	○														・出願する年の4月1日現在、学部2年生の者 ・父母の税込年収合計900万円未満(ただし、就学中の兄弟姉妹が本人を含め3人以上の場合、税込年収1千万円未満を目標) ・財団主催行事への出席を優先できる者 ・健康で、学業成績、人物ともに優れている者 ・専攻の専攻企業・官公庁・学校に勤労し、産業・文化面で活動し社会に貢献しようとする者 またはこれらの活動に関連する学術的研究を志す者 ・年1回、大学において財団との面接あり	記載無	2名	6名	2名	2名	
3月	大学推薦	川崎市大学奨学生《川崎市》	貸与	38,000円/月額(無利子)	最短修業年限まで	○														・学部1年生であること ・保護者が川崎市に1年以上居住していること ・学費の支弁が困難であること ・学業成績が優良で品行が善良であること	10名程度	学内選考無	0名	0名	0名	
3月	大学推薦	(公財)北田奨学会記念財団 《福岡県》	給付	30,000円/月額	最短修業年限まで	○														・福岡県内の高等学校を卒業した学部1年生 ・行いが正しく、かつ学業成績が優れており、経済的に困っている者	若干名	5名以内	1名	1名	0名	
3月	大学推薦	石川県育英賞金《石川県》	貸与	44,000円/月額(無利子)	最短修業年限まで	○														・保護者が石川県内に現に引き続く3年以上居住していること ・勉学意欲があり、かつ、学費の支弁が困難な者 ・年収の上限あり(募集要項参照)一例:4人家族 年収上限1,030万円程度	80名	学内選考無	0名	0名	0名	
3月	大学推薦	茨城県奨学生(在学採用) 《茨城県》	貸与	自宅:36,000円/月額(無利子) 自宅外:40,000円/月額(無利子)	最短修業年限まで	○														・茨城県内に居住する者の子弟であること ・前27年度の成績評定が平均3.0以上であること(特例あり) ・家庭世帯、家計支持者について、所定の基準以下の者(募集要項参照) ・申請時、留年者は申し込み不可	80名程度	学内選考無	0名	0名	0名	
3月	大学推薦	茨城県奨学生(入学一時金) 《茨城県》	貸与	240,000円/一回(無利子)	1回限り	○														・茨城県内に居住する者の子弟で、平成31年度に大学へ進学した者 ・大学卒業後、茨城県内に居住し、茨城県内の事業所で就業する意思があること ・専攻の専攻企業・官公庁・学校に勤労し、産業・文化面で活動し社会に貢献しようとする者 ・住居非課税世帯(前年度課税の市町村民税所得割が0円)または生活保護世帯 ・卒業後に茨城県に居住し、茨城県内で就業した場合に返還を免除する制度あり	14名	学内選考無	0名	0名	0名	
3月	大学推薦	(一財)JPC奨学財団	給付	20,000円/月額 (3ヶ月毎にまとめて支給)	最短修業年限まで	○														・2019年4月1日現在、日本国籍を持つ理工系の学部2年生または4年生であること ・学業、人物ともに優秀であり、意欲があること ・財団主催行事へ参加が可能であること	36名程度	2名	2名	2名	2名	
3月	大学推薦	(一財)北野財団	給付	30,000円/月額	最短修業年限まで	○														・土木、建築、都市計画及び電気関連等を専攻する学部2~4年生又は博士課程前期に在籍する者 ・成績要件が前年度までのGPA3.00以上 ・収入要件の目安が給与収入世帯は世帯合計収入800万円未満、給与収入以外の世帯は400万円未満	30名程度	5名以内	学部8名 院10名	学部3名 院1名	学部1名	
3月	大学推薦	(公財)米澤・リンガー・ハット財団 《鳥取県・長崎県》	給付	20,000円/月額	最短修業年限まで	○														・鳥取県・長崎県内の高等学校等を卒業した者で、学部2~4年または大学院に在籍する者 ・給与収入世帯の場合、世帯合計収入800万円未満、給与収入以外の世帯は自営業などその他収入340万円未満とする ・成績要件は、原則、前年度までの成績が、GPA3.00以上であること	20名程度 (鳥取県10名、長崎県10名)	学内選考無	0名	0名	0名	
3月	大学推薦	JES-ジョンソンコントロールズ 奨学金基金《東日本大震災》	給付	50,000円/月額	1年間	○														・理工系分野(機械・電機・建築系学部等)を専攻する学部生または博士前期課程の日本国学生で、平成23年3月1日に発生した東日本大震災により被害を受けた、経済的に修学継続が困難な者 ・ジョンソンコントロールズ㈱におけるインターンシップ(最低1週間)に必ず参加できる者	4名	何名でも	0名	0名	0名	
3月	大学推薦	<2019年度で募集終了> JT国内大学奨学金	給付	自宅:50,000円、自宅外:100,000円/月額 授業料270,000円×2回/年間 入学金300,000円 自宅外生のみ入学一時金300,000円	最短修業年限まで	○														・2019年4月現在で学部1年生 ・世帯収入が、給与の場合は年収400万円未満、給与以外の場合は所得200万円未満、給与と給与以外の両方の場合は合算した金額が400万円未満 ・8月以降、他の奨学金の支給を受けない者(貸与型奨学金、授業料免除、一時金等の併用も不可) ・修士(博士前期)課程への進学を希望し、かつ進路理理由や学業成績が優れた奨学生については、別途審査のうえ、最長2年間、同額の支給を継続する ・アンケート等への回答、及び寄付者が主催する行事に参加すること	10名程度	1名	3名	1名	1名 上記のほかに 専攻別1名採用	
3月	大学推薦	(公財)宮崎県奨学会 《宮崎県》	貸与	25,000円/月額(無利子)	最短修業年限まで	○														・宮崎県に本籍を有する者または本人の主たる生計維持者が宮崎県内に居住している者 ・平成31年4月に入学した者で経済的理由により修学困難な者 ・在学生で希望する場合は個別に問い合わせ	5名程度	学内選考無	0名	0名	0名	
3月	大学推薦	(公財)村井記念奨学財団	給付	学部生:30,000円/月額	最短修業年限まで	○														・神奈川県内の大学において、工学系の学部で学ぶ学生 ・学業優秀、品行方正、身体健康でありながら、経済的理由により修学が困難な学生 ・財団主催行事(原則年1回)には参加して意欲高揚に務めること	10名程度	若干名	4名	2名	2名	
3月	大学推薦	(一財)鹿野学振興財団	給付	50,000円/月額(年間600,000円)	1年間	○														・2019年4月1日現在、学部1~3年生もしくは大学院修士課程1年生に在籍している者 ・科学技術関係(電気電子工学、光学関連、画像処理関連、機械工学、物理学、情報工学、材料工学、化学関連、医療機器関連、健康・福祉関連、環境・エネルギー関連、農学・機能性食品等)を専攻している者 ・卒業後は製造業への就職を希望している者 ・過去に当該財団の奨学生に採用されたことがない者 ・採用された場合、東京で行う奨学生決定通知授与式に必ず出席できる者	若干名	学内選考無	0名	0名	0名	
3月	直接応募	(一財)鹿野学振興財団	給付	50,000円/月額(年間600,000円)	1年間	○														・2019年4月1日現在、学部1~3年生もしくは大学院修士課程1年生に在籍している者 ・科学技術関係(電気電子工学、光学関連、画像処理関連、機械工学、物理学、情報工学、材料工学、化学関連、医療機器関連、健康・福祉関連、環境・エネルギー関連、農学・機能性食品等)を専攻している者 ・卒業後は製造業への就職を希望している者 ・過去に当該財団の奨学生に採用されたことがない者 ・採用された場合、東京で行う奨学生決定通知授与式に必ず出席できる者	若干名					
3月	直接応募	(公財)野島財団	給付	50,000円/月額	最短修業年限まで	○														・2019年4月時点で学部2年生であること ・学業に対して熱意をもって取組、社会に対する貢献意欲の高い者	7名					
3月	直接応募	(公財)沖縄県国際交流・人材育成財団《沖縄県》	貸与	学部:45,000円/月額(無利子) 修士:70,000円/月額(無利子) 博士:80,000円/月額(無利子)	最短修業年限まで (1年毎の継続審査あり)	○														・沖縄県内に住所を有する者の子弟(両親又はいずれかが沖縄県内に住民登録していること) ・成績が特に優秀な女子学部生1名は「ひめゆり同胞会奨学生」として採用されることがある ・奨学金が特に優秀な大学院生は「顕道銀行又は沖縄銀行委託給与奨学生」として採用されることがある	学部107名程度 院9名程度					
3月	直接応募	公益信託池田育英会トラスト 《愛媛県》	給付	17,000円/月額 (7月・1月に10万2千円を給付)	最短修業年限まで	○														・学部2年生以上または大学院生 ・愛媛県内の高等学校を卒業した者、または保護者が愛媛県内に居住している者 ・学業、人物ともに優秀で、経済的支援の必要な者 ・推薦者(担当教員等)経由で結果を通知	5名					
3月	直接応募	(一財)トヨタ女性技術者育成基金	貸与	600,000円/年額(実質無利子)	在学期間中 (留年は不可)	○														・日本国籍を有し、応募する年の4月現在、学部1年生の女性、または応募する年の4月に高等専門学校から編入し学部3年生として在学する女性 ・学業成績優秀で、当基金の主旨に賛同し、将来製造業社でのづくりに関わる女性エンジニアとして活躍していく意欲・熱意のある者 ・当基金又は参加企業が主催する育成プログラムに参加できる者 ・卒業後、対象会社の採用試験を受け、対象会社に入社または他の参加企業に入社した場合は全額免除、他の参加企業以外の製造業社に入社した場合は半額免除の元金返済免除制度あり	116名					
3月	直接応募	福井県ものづくり人材育成修学資金	貸与	60,000円/月額(無利子)	最短修業年限まで	○														・2019年4月時点で理工系大学院に在学(見込み含む)する者 ・社会人入学試験により入学した者でないこと ・全国の理工系大学院生を対象、福井県のものづくり企業(募集案内参照)に勤務して、研究開発業務に従事することを希望する者であれば、福井県出身者がどうかは問わない ・大学院修了後、福井県のものづくり企業に7年間勤務した場合、返済を全額免除 ・本人や親の収入による支給制限なし	15名程度					
3月	直接応募	(公財)志・建設技術人材育成財団《兵庫県》	給付	500,000円/年額	最短修業年限まで (在学年毎)	○														・兵庫県出身で、建設系(建築・土木)の学部で学ぶ学部1年生 ・大学卒業後、兵庫県内の建設系企業に就職を希望していること	5名					
3月	直接応募	(一財)神山財団	給付	200,000円/年間 (年1回の一括支給)	2年間を限度	○														・大学院で絵画(油絵・水彩画・日本画・アクリル画・テンペラ画・フレスコ画・版画)など、具象が望ましい)を制作している修士課程1年生であること ・財団主催の成果展に出展すること ・奨学金又は参加企業が主催する育成プログラムに「当該財団からの支援経歴」を記載すること ・将来的に美術を通じて日本社会の発展に貢献する志を持っていること	20名程度					
3月	直接応募	(公財)古河記念基金	給付	自宅:30,000円/月額 自宅外35,000円/月額	最短修業年限まで (最長6年)	○														・日本国籍の学生で2019年4月現在、学部2年生以上または大学院に在籍する理工系専攻(薬学を含む)の者 ・金属その他資源関係の学生を優先とする ・学業成績や取得単位数が優秀で、卒業までの進級が十分見込めること ・家庭の経済状況が、2018年の年収900万円を超えないこと(税込み、年金収入および兄弟の収入は算入しない) ・採用された場合、奨学金支給額書、保護者の前年収入証明書等の必要書類の提出あり	記載無					
随時	大学推薦	JASSO支援金	給付	100,000円/一回	同一の災害につき一回	○														・自然災害等の発生により、居住する住宅(学生が学生生活の本拠として日常的に使用している日本国内の住宅)に2週間(半壊)流出・半壊没及半壊没を含む)もしくは床上浸水以上の被害を受けた場合は自然災害等による危険な状態が発生し、自治体の避難勧告等による住居への立入禁止等が1か月以上継続した場合 ・学修に意欲があり、修業年限で学業を確実に修了できる見込みがあると学長が認める者 ・入学前、休学中、成績不振により留年中に発生した災害は対象外 ・申請は随時受付(自然災害等の申請事由の発生月の翌月から起算して3か月を超えない期間内かつ在学中であること)	記載無	学内選考無	1名	1名	1名	
随時	大学推薦	石川県育英賞金《石川県》 【緊急採用】	貸与	44,000円/月額(無利子)	採用決定から採用年度末まで (継続申請あり)	○														・保護者が石川県内に現に引き続く3年以上居住していること ・家計が急変した者(主たる家計支持者の解雇、早期退職、再就職した収入が著しく減少、死別、離別、破産、病気、事故、会社倒産、経営不振、火災、風水害、震災等の災害等) ・願書は随時受付	5名以内	学内選考無	0名	0名	0名	